

第2回長久手市運賃料金協議会 議事要旨

議 事 概 要	
会議の名称	第2回長久手市運賃料金協議会
開催日時	令和7年12月19日(金) 午後1時～午後1時30分
開催場所	長久手市役所 本庁舎3階 第4会議室
出席者氏名 (敬称略)	4名中4名出席 部会長 川本満男 委員 国仲美早 委員 久米裕之 委員 山田慎児 事務局 企画政策課長・同課長補佐・同主事 説明員 くらし文化部長・安心安全課長・同課長補佐・交通防犯係長
欠席者氏名 (敬称略)	なし
傍聴者人数	3人
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	1 あいさつ 事務局あいさつ 2 協議事項 75歳以上のNーバス運賃無料について

1 あいさつ

事務局挨拶

2 協議事項

75歳以上のNーバス運賃無料について

(資料に基づき、事務局より説明)

部会長

提出意見に対する市の考え方について「高齢者外出促進に係る事業の点検、見直しを行った」とのことであるが、今回の協議事項において重要と思われるため、事務局から補足説明いただきたい。

説明員

既存では、市の福祉部局で65歳以上を対象とした1,000円分のmanacaチャージ券を毎年度発行する事業を実施している。この事業は、高齢者の外出促進、リニモの利用促進等一定の成果は得られているが、今年度末で終了と考えている。これによる市の歳出抑制額が約473万6,000円を見込んでいる。

他方、今回提案する施策の市の負担分は、過去の状況から試算し、運賃並びにフリーパス券及び回数券の売り上げ分を合わせると、約285万円と見込んでいる。

また、ご意見いただいた増収策について補足すると、令和9年度の再編では利便性の向上による利用促進の他、運賃体系の見直しなども行い、両面から増収を図りたいと考えている。

委員

この取組は令和9年度から予定されているバス再編までのつなぎで実施するのか、それとも継続予定かによって、受け止め方は大きく異なる。

また、今後、バス再編に伴ってNーバスの運賃が上がる可能性はあるか。

説明員

本件については、令和7年8月25日に開催された第71回長久手市地域公共交通会議でも議論しており、その際、運賃の無料化ありきではなく、継続性を持って考えるべきとの意見が出ている。

また、Nーバスを単に無料にするのではなく、外出の目的も含めた健康増進につながる施策とあわせて検討すべきとの意見も出ている。

今後のバス再編や運賃体系の見直しについては、他の基幹交通への影響にも配慮し、持続可能性を重視しながら、多方面から検討していく予定である。

委員

意見聴取した結果については「市の考え方」として書かれており、令和9年度の見直しに向けて、当面この運賃の無料を維持しつつ、今後、予定されている路線再編や、それに伴う経費・便数の変化などを踏まえ、事業全体をトータルで検討する必要があると考える。再編の規模や影響が明らかになった段階で、運賃の見直しやこの取組の維持についても併せて議論すべきであるため継続の可否については全体像を把握した上でなければ回答はできないと思う。

また、「その他の意見」の周知方法に対する市の回答として、「郵送により」のみの記載であるが、実際は意見の中で提案されている手法も実施予定であることから、それらも含めた上で回答を整理してみてもどうか。また、広く情報を周知することが大切であるため、民生委員の方にもご協力いただけるのであれば活用していくという前向きな回答にした方がよいと思

う。

委員

このことについては、第71回地域公共交通会議における提案を踏まえ、今回の運賃料金協議会に至っているが、取組開始が来年4月と近く、検討期間が限られた中で進められている印象がある。提出された意見を踏まえて実施することはもとより、課題や問題点の検証及び十分な議論が必要なため、特に、令和9年度の再編に向けては、長久手市地域公共交通会議において丁寧な議論を重ね、最適な在り方を検討・調整いただきたい。

委員

提出された意見の中で「有料化に伴って75歳以上の外出が大きく減ったデータも無い」とあるが、実際のところ有料化によって、利用者の推移はどのようになっているか。例えば、減っているのであれば、代替手段として家族送迎へ変わったのか、そもそも、手段が無く、外出機会を無くしているのか等の情報を事務局は持っているか。

説明員

このことについて、一部記載しているが、65歳以上を有料化した際の利用状況は、令和4年度132,000人の利用状況であり、以降は137,000人、139,000人、141,000人と年々、増加している。

また、現状では、利用者の内訳を年齢別で把握することは難しいが、利用者全体からの割合としては高齢者が高い。また、福祉部局が行っている高齢者に対しての移動に係るアンケートでは外出状況や公共交通の利用状況を読み取ることは可能である。また、バス再編に伴いアンケート調査も実施しているため、これらの統計や結果も含めて今後検討していく。

委員

回数券は65歳以上に販売されているが、継続されるのか。

説明員

65歳から74歳までは継続して販売を行う。

委員

65歳以上への1,000円分のmanacaチャージ券の交付は令和8年3月末までで終了予定とのことであるが、免許返納者への事業はどのようなか。75歳以上の扱いも含めて教えていただきたい。

説明員

免許返納者への特典については、Nーバス回数券の交付のみを存続する。なお、75歳以上については今回、運賃が無料となるため他の特典は予定していない。

委員

無料化、有料化するにあたり違いが浮き彫りになるため、令和9年度のバス再編に向けて利用状況を年齢別で把握できるような仕組みを構築したり、情報を整理していく必要があると考える。

部会長

データ整備や統計を取りながら、整理する等事務局でも確認・検討をいただき進めていただきたい。

それでは、他に意見が無いようであれば、本協議事項は議決をとるものとなっているため、承認される方は挙手していただきたい。

(全員挙手)

全会一致で挙手いただいたことから、本協議事項は承認とする。

以上をもって、本日予定していた協議事項は終了である。

5 閉会

事務局

協議結果についてはこの後開催予定である第73回長久手市地域公共交通会議で報告する。

以上